

授業科目	初級韓国語会話				実務家教員担当科目	-	
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	南 喜玄						
授業概要	「入門韓国語会話」で修得した基礎能力を中心に文法、基礎会話を繰り返して復習・予習・練習しながら、「聞く」「話す」「読む」「書く」の基礎能力のさらなる向上を図り、韓国語能力試験(TOPIK)の基礎レベルに相当する韓国語能力を身につけるとともに、「入門韓国語会話」に続き、韓国の文化や慣習にも触れながら韓国という国への関心度・理解度をさらに深めることを目的とする。なお、基礎会話と関連して、韓国の政治・経済・社会・歴史・文化・生活習慣についても詳しく紹介しながら授業を進めていく。						
授業形態				授業方法			

## 学生が達成すべき行動目標

目標達成度別行動目標	
標準的レベル	1. ハングルが読めて、単語を100個以上覚えるようになる。 2. 単語をただ言うのではなく、文法を使って文章や会話を作ることができる。 3. 韓国語の基礎能力と韓国文化の関心度・理解度をさらに身につけることができる。
理想的レベル	1. 簡単な単語や基礎的な文法を理解し、自分の意志を表現できる。 2. 長文の音読はゆっくりではあるが、正確に音読できいて、短い文ならリスニングも正確にできる。 3. 韓国語能力試験(TOPIK)の基礎レベルである1級を合格することができるようになる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト	0%	
レポート	0%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0%	
レポート外の提出物	20%	
その他	20%	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	ナンパリング	T011316J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
ニキストの練習問題を中心に復習！ 付属CDを利用して発音をチェックする								4	

テキストの練習問題を中心に復習し、付属 CD を利用して発音をチェックする。

## 授業計画

第1回	ガイダンス（講義の進め方、留意事項、試験・評価の方法など） 第1課 私は浅井ゆかりです。（～は、～です、職業、練習問題）
第2回	第2課 出身はソウルですか。（～が、～ですか、家族の呼称、練習問題）
第3回	第3課 図書館ではありません。（～ではありません、～ではありませんか、建物 / 場所、練習問題）
第4回	第4課 時間がありますか。（います / あります、いません / ありません、趣味、練習問題）
第5回	第5課 何をしますか。（します / しますか、何、学術分野、練習問題）

第6回	第6課 貿易会社で働いています。(します / しますか、います / あります、いません / ありません、練習問題)
第7回	第7課 服を買います。(～です / ～ます、乗り物、練習問題)
第8回	第8課 スーパーでよく買います。(1) (～です / ～ます、～しに、料理 / 食堂 / 飲み物)
第9回	第8課 スーパーでよく買います。(2) (補充説明、練習問題)
第10回	第9課 1万ウォンです。(1) (～です、漢数詞、漢数詞で教える助数詞)
第11回	第9課 1万ウォンです。(2) (補充説明、練習問題)
第12回	第10課 今、何時ですか。(1) (いくつ・固有数詞、固有数詞で教える助数詞)
第13回	第10課 今、何時ですか。(2) (補充説明、練習問題)
第14回	第11課 日本語を話されますか。(敬語の使用、敬語の特殊例、韓国語の中の外来語、練習問題)
第15回	第1～11課の主要学習内容について復習 全体的なまとめ
テキスト	木内 明 著『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』国書刊行会、2014年 (2,100円+税)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、授業中に適宜、指示・配布する。
課題に対するフィードバックの方法	1. 提出された課題や小テストを採点して返却する。 2. 課題や小テストは正答を公開し、学習レベルを確認する。
学生へのメッセージ・コメント	1. 基礎的な文法を理解し、「聞く」「話す」「読む」「書く」という基礎能力をさらにバランスよく身につけてください。 2. 言語の習得は繰り返しが大切なので、可能な限り繰り返して復習・予習・練習する習慣をつけてください。 3. 1年間という在学期間中に韓国語能力試験(TOPIK)1級の資格取得を目指してください。